



九州ゴルフ連盟報

第209号

2024年(令和6年)11月28日発行

ホームページ <http://www.guk.jp>

編集人 西室田 潤一
発行所 九州ゴルフ連盟
所在地 福岡市博多区博多駅前3丁目6-12
(オヌキ博多駅前ビル2階)
〒812-0011 電話 (092) 434-5501 (代表)
印刷所 株式会社 西日本新聞プロダクツ

九州ゴルフ連盟旗

第14回 九州ミッドアマチュア選手権競技

28歳の石塚祥成(福岡)が通算5アンダーで初優勝 昨年の悔しい思いを晴らす



優勝カップを手にニコリの石塚



水田九州ゴルフ連盟理事長と石塚

25歳(今年12月末現在)以上で競う「第14回九州ミッドアマチュア選手権競技」は10月16、17日、鹿児島県南九州市知覧町の知覧カントリークラブ(6893ヤード、パー72)で行われた。66人が出場して争われた17日の最終日は28歳の石塚祥成(福岡雷山)が通算5アンダー139で初優勝を飾った。首位でスタートした石塚は前半のアウトを2バー

ディー、1ボギーの35、後半のインを3バーディー、1ボギーの34の3アンダー69にまとめた。昨年は今年同様、最終日の前半終了時点で2位に3打差をつけながらバックナインで崩れて3位に終わった。今回は後半のインでスコアを伸ばしてリベンジを果たした。この日のベストスコア68をマークした渡辺卓(大分、41歳)が通算4アンダー140で2位。3位には通算1アンダー143の内布

洋明(八代、33歳)、4位には通算1オーバー145の山下大介(長崎、33歳)が入った。前年優勝の今村大志郎(麻生飯塚、45歳)は通算4オーバー148で11位タイだった。

石塚が2アンダー70で初日のトップに

132人(欠場4人)が出場した初日は石塚が3バーディー、1ボギーの2アンダー70でトップに立つ

第14回 九州ミッドアマチュア選手権競技

順位	選手名	所属	+/-	Total	1R	2R
1	石塚 祥成	福岡 雷山	-5	139	70	69
2	渡辺 卓	大分	-4	140	72	68
3	内布 洋明	大分	-1	143	73	70
4	山下 大介	長崎	+1	145	72	73
5	仲村 泰之	美らオーチャード	+2	146	74	72
7	原田 海夏	有美らオーチャード	+3	147	74	73
11	山村 京介	福岡 賀賀	+3	147	73	74
13	大蔵 重志	久住 高	+5	149	74	75
15	高橋 大輔	福岡 雷山	+6	150	77	73
18	山路 浩翔	筑紫 壱	+7	151	76	75
23	井上 幸三	宮崎	+8	152	78	74
29	市丸 耕一郎	北九州	+9	153	75	78
31	江口 信二	大分	+10	154	79	75
	福原 暢久	鹿嶋 鹿嶋	+10	154	78	76

順位	選手名	所属	+/-	Total	1R	2R
38	山内 浩二	福岡 須高	+10	154	77	77
42	藤枝 仁	福岡 小倉	+12	156	79	77
46	岡部 政希	大分 竹中	+13	157	79	78
55	小野 寛明	北九州	+14	158	79	79
58	石光 隆一	西日本	+14	158	77	81
60	岩上 純生	大分 沖繩	+17	161	79	82
64	須藤 義史	福岡 浮賀	+18	162	79	83
65	小林 弘明	八女	+21	165	78	87
66	山内 孝徳	福岡 雷山	+23	167	79	88

《INDEX》

- 2面 九州ジュニア 15～17歳男子は長崎焯心、同女子は仲村梓、12～14歳男子は長崎大星、同女子は廣吉優梨菜がそれぞれ優勝
- 3面 九州シニア 野上英司が優勝
九州小学生 男子は山中太聖、女子は嶋田もみじがそれぞれ優勝
- 4面 九州グランドシニア 佐藤憲一が優勝
ハンディキャップ九州大会 男子は上原一男、女子は小林麻実がそれぞれ優勝
- 5面 九州ミッドシニア 榎隆則が優勝
九州スーパーシニア 男子は瀧下幸治、女子は岩切マリ子がそれぞれ優勝
- 6面 日本ジュニアなどの全国大会、コースレポート
- 7面 レベル2、来場者数、コースレポートなど
- 8面 九州インタークラブ大会 熊本空港CCが優勝

た。1打差の1アンダー71の2位に南野雅英(鷹羽ロイヤル、35歳)、パープレー72の3位タイに新高英明(大村湾、27歳)、渡辺、今村、山下、森芳勝(大博多、53歳)の5人がつけた。また、福原暢久(鷹羽ロイヤル、50歳)が8番ショート(163ヤード)でホールインワンを達成した。

この日は降雨のため開始が1時間30分遅れ、午前9時にスタートした。

なお、通算7オーバー79、57位タイまでの66人が決勝ラウンドに進んだ。

全国大会は高室池GC(兵庫)で開催

この結果、通算4オーバー148、11位タイまでの12人(シード1人を含む)と5オーバーで並んだ2人のうち、大会規定のマッチングスコアカード方式により岡村貴志(久住高原、48歳)が11月13日から3日間、高室池GC(兵庫)で開催される「第28回日本ミッドアマチュア選手権」の代表権を得た。

弾きがいい
スゲー飛ぶ!

自信を持って
振っていきける
by 松山 英樹

その理想に応える。

やさしいMAX
新たにラインアップ
ZXi MAX

※プロ選手は製品を個別にカスタマイズして使用している場合があります。
株式会社ダンロップスポーツマーケティング 0120-653045

第43回九州ジュニア選手権競技



15～17歳の部で優勝の長崎煌[㊦]と仲村[㊦]



12～14歳の部優勝の長崎大[㊦]と廣吉[㊦]

〈15～17歳の部男子〉

11アンダー 133 長崎 煌心 (日章学園高2年)

〈15～17歳の部女子〉

7アンダー 137 仲村 梓 (エナジックススポーツ高2年)

〈12～14歳の部男子〉

6アンダー 138 長崎 大星 (日章学園中3年)

〈12～14歳の部女子〉

4アンダー 140 廣吉優梨菜 (折尾中3年)

「第43回九州ジュニア選手権」は7月25、26日、熊本県阿蘇市のあつまる阿蘇赤水ゴルフ倶楽部(男子=7040ヤード、女子=6506ヤード、いずれもパー72)で行われた。15～17歳の部男子は11アンダー133で長崎煌心(日章学園高2年)が、同女子は仲村梓(エナジックススポーツ高2年)が7アンダー137でそれぞれ初優勝を飾った。12～14歳の部男子は6アンダー138で長崎大星(日章学園中3年)が初制覇。同女子の部は通算4アンダー140で廣吉優梨菜(折尾中3年)がこの部門で初の連覇を達成した。男子は長崎兄弟がともに頂点に立った。

最終日の出場者は15～17歳の部男女がともに31人、12～14歳の部男子が25人、同女子26人。

長崎煌が最終18番イーグルで勝利をつかむ

〈15～17歳の部男子〉

優勝は同じ最終組の長崎煌と1学年上の先輩・丸尾怜央(日章学園高3年)の争いとなった。17番までは丸尾が1打リードしていたが、最終18番ロングで長崎煌がイーグルを奪って逆転勝ちした。丸尾は通算10アンダー134で2位となり、2年ぶり2度目の優勝はならなかった。通算6アンダー138の3位には呉屋陽星(エナジックススポーツ高1年)が食い込んだ。

仲村がベストスコア67をマークし逆転勝ち

〈15～17歳の部女子〉

仲村が5バーディー、ノーボギーのベストスコア67をマークして勝利を引き寄せた。パーオンできなかったのは1回だけというショットがさえた。2打差、通算5アンダー139の2位には林田万輪(熊本国府高1年)が続いた。初日首位の宮城柚(第

一薬科大付属高2年)は通算4アンダー140で3位だった。

長崎大が接戦を制して初優勝

〈12～14歳の部男子〉

長崎大が三明優太(沖学園中3年)との接戦を制した。17番まで同スコアで並んだが、最終18番で三明優のボギーに対し、長崎大がバーディーを奪って決着をつけた。長崎大のスコアは通算6アンダー138、三明優は4アンダー140。通算1オーバー

男子の部【15～17歳】

Table with 8 columns: 順位, 選手名, 所属, 年次, +/-, Total, 1R, 2R. Lists 31 players and their scores.

男子の部【12～14歳】

Table with 8 columns: 順位, 選手名, 所属, 年次, +/-, Total, 1R, 2R. Lists 25 players and their scores.

145の3位タイに保科翔太(長崎東中3年)と宮城ジョセフ(ホープインターナショナルアカデミー8年)がつけた。

廣吉が通算4アンダー140で初の連覇を達成

〈12～14歳の部女子〉

初日2位の廣吉が5バーディー、3ボギーの70で回り、通算4アンダー140で逆転勝ちした。廣吉は2年連続2度目の優勝で、このクラス初の連覇。5打差、通算1オーバー145の2位に初日首位の川部日向(大分中3年)、通算4オーバー148の3位タイに矢谷彩華(沖学園中2年)と永山藍生(千代中3年)の2人。

日本ジュニアには男女計62選手が出場

この結果、8月14日から16日まで開かれる「第29回日本ジュニア選手権」には15～17歳の部男子上位15人(シード2人)、同女子20人(シード2人)、12～14歳の部男子11人、同女子11人(シード1人)の計62人が九州代表として出場する。開催コースは15～17歳の部男女が霞ヶ関CC、12～14歳の部男女が武蔵CC豊岡コース(いずれも埼玉県)。なお、15～17歳の部女子と12～14歳の部女子は出場割当数にタイが生じたが、大会規定のマッチングスコアカード方式で出場者を決定した。

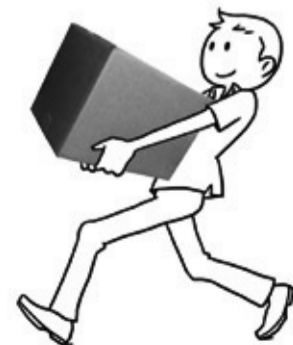
女子の部【15～17歳】

Table with 8 columns: 順位, 選手名, 所属, 年次, +/-, Total, 1R, 2R. Lists 31 players and their scores.

女子の部【12～14歳】

Table with 8 columns: 順位, 選手名, 所属, 年次, +/-, Total, 1R, 2R. Lists 26 players and their scores.

まごころを贈るお手伝い



創業昭和35年

杉村包装資材株式会社

〈本社〉福岡市博多区麦野3丁目14-15 ☎092-586-5065

杉村包装

検索

第54回九州シニア選手権競技

66歳の 通算3オーバー 147 野上英司(ミッシェン)が 初優勝

3人のプレーオフを1ホール目で制する



初優勝の野上

55歳以上で競う「第54回九州シニア選手権競技」は9月18、19日、福岡県大牟田市の有明カントリークラブ(6641ヤード、パー72)で行われた。60人が出場した19日の最終日は通算3オーバー147で野上英司(ミッシェンバレー、66歳)、福留洋一(宮崎レイクサイド、59歳)、井手尾環(熊本空港、58歳)の3人が並んでプレーオフとなり、1ホール目の1番ロング(562ヤード)で野上がバーディーを決めて2人を振り切った。野上は初優勝。首位から2打差、通算5オーバー149の4位タイには山口幸則(球磨、63歳)と林俊行(ワールド、58歳)の2人が続いた。史上3人目の3連覇を目指した榎隆則(大分中央、65歳)は通算9オーバー153で12位タイだった。



野上(左)によるプレーオフを制した

た。初日は2オーバー74の首位タイに6人、トップから3打差以内に26人の大混戦に

132人(欠場4人)が出場しての大会は初日から大混戦となった。首位に立ったのは2オーバー74の6選手。林、井手尾、福永勝男(祁答院、56歳)、山口、江村博次(熊本空港、68歳)、福留が第1ラウンドをリードした。首位から1打差、3オーバー75の7位タイに4人、さらに1打差、4オーバー76の11位タイに5人、5オーバー77の16位タイに11人とトップから3打差以内に26人がひしめいた。榎は76で11位タイ。なお、通算8オーバー80、53位タイまでの60人が決勝ラウンドに進んだ。

プレーオフで野上が下りの8mを沈める

最終日の前半のアウトを折り返した時点で通算3オーバーに5人、4オーバーに2人、5オーバーに3人と優勝の行方は混とんとしていた。これらの中で後半のインを野上と井手尾はパープレーの36、福留は2アンダーの34でプレーオフとなった。プレーオフでは第2打を放った時点で福留が断然有利と思われたものの、最後のパター勝負で野上が左上からの難しい8mのスライスを読み切ってバーディーを奪った。

11選手が九州代表として全国大会へ

この結果、8オーバー152までの上位11人が10月23日から3日間、涼仙GC(三重県)で開催される「第45回日本シニア選手権」に九州代表として出場する。

第54回九州シニア選手権競技 決勝成績表

順位 選手名 所属 +/- Total 1R 2R
1 野上 英司 ミッシェンバレー +3 147 75 72
2 福留 洋一 宮崎レイクサイド +3 147 74 73
井手尾 環 熊本空港 +3 147 74 73
4 山口 幸則 球磨 +5 149 74 75
林 俊行 ワールド +5 149 74 75
6 小杉 康之 熊本空港 +6 150 76 74
7 河口 康広 司ロイヤル +7 151 77 74
村山 嘉彦 熊本空港 +7 151 75 76
江村 博次 熊本空港 +7 151 74 77
10 馬渡 伸次 福岡雷山 +8 152 77 75
松村 康博 湯の浦 +8 152 77 75
12 佐々木 茂 別府 +9 153 80 73
高崎 祐二 茜 +9 153 77 76
榎 隆則 大分中央 +9 153 76 77
15 西尾 公孝 佐賀 +10 154 78 76
中村 宗一 ベニンシユラ +10 154 78 76
神谷 正博 ミッシェンバレー +10 154 76 78
福永 勝男 祁答院 +10 154 74 80
福永 栄作 高千穂 +11 155 77 78
辻田 昭吾 くまもと中央 +11 155 77 78
山本 博喜 肥後サンバレー +11 155 77 78
上坊 悟 チェリー鹿島シーサイド +11 155 77 78
佐藤 良晴 西戸崎シーサイド +11 155 76 79
24 楠元 利夫 都城母智丘 +12 156 79 77
岩本 聖司 大分竹中 +12 156 76 80
空閑 豊 福岡 +12 156 75 81
27 藤田 光一 佐賀 +13 157 80 77
田代 寿博 かほ +13 157 79 78
山内 孝徳 福岡雷山 +13 157 78 79
30 佐藤 賢悟 北方 +14 158 79 79
宮島 孝美 フェニックス +14 158 79 79
白坂 千弘 宮崎大淀 +14 158 79 79
山邊 健喜 夜須高原 +14 158 79 79
比屋根 修 美らオーチャード +14 158 78 80
森 伸一郎 九州八幡 +14 158 77 81
古川 圭 佐賀 +14 158 75 83
37 加井 哲哉 芥屋 +15 159 80 79
神宮 隆光 九州八幡 +15 159 78 81
宮崎 哲 筑紫ヶ丘 +15 159 78 81
上浦 一朝 チェリー鹿島シーサイド +15 159 78 81
木村 謙治 鷹羽ロイヤル +15 159 78 81
42 城丸 良一 かほ +16 160 80 80
佐竹 美昭 茜 +16 160 80 80
河原 和久 佐賀クラシック +16 160 79 81
青井 和彦 ハウステンボス +16 160 78 82
46 松尾 和彦 福岡サンレイク +17 161 78 83
吉田 実 ザ・クラシック +17 161 77 84
48 土谷 雅博 大分竹中 +18 162 79 83
坂本 嘉秀 北九州 +18 162 78 84
田尻 美智明 ミッシェンバレー +18 162 77 85
51 山本 浩司 福岡国際 +19 163 80 83
今林 伸一 久山 +19 163 79 84
森 浩幸 鹿児島鹿屋 +19 163 79 84
54 村上 義春 皐月 +20 164 80 84
55 中野 洋一 島原 +21 165 79 86
太田 良幸 島原 +21 165 79 86
57 山口 和夫 佐賀クラシック +22 166 80 86
58 長谷川 政二 チェリー小倉南 +23 167 79 88

第17回九州小学生大会

《女子》嶋田もみじ(福岡・碓井義務教育学校6年)が 2アンダー70で2年連続優勝
《男子》山中 太聖(鹿児島・伊崎田小6年)が 2アンダー70で初優勝

「第17回九州小学生ゴルフ大会」は7月23日、熊本県阿蘇市のあつまる阿蘇赤水ゴルフ倶楽部(5843ヤード、パー72)で行われた。女子の部は福岡・碓井義務教育学校6年の嶋田もみじが7バーディー、3ボギー、1ダブルボギーの2アンダー70で、男女を通じて初めてとなる2年連続優勝を果たした。男子の部は鹿児島・伊崎田小6年の山中太聖が3バーディー、1ボギーの2アンダー70で初優勝した。今回は男女とも29人ずつの計58人が参加した。

女子は嶋田もみじが男女を通じて初の2年連続優勝

インスタートの女子は嶋田がインの11番でダブルボギーを叩きながら12番からの3連続と18番のバーディーで前半を34。後半のアウトも2番からの3連続バーディーもあり、3バーディー、3ボギーの36、トータル70にまとめた。2位には優勝した嶋田と同じ2アンダー70の沖縄・坂田小6年の国仲咲々。同スコアだったが、大会規定のマッチングスコアカード方式で嶋田が1位となった。3位タイには1オーバー73で湯浅穂花(福岡・大谷小6年)と濱元アンジェリカ(鹿児島・谷山小6年)。

男子は山中太聖が2アンダー70で2位に4打差の圧勝劇

アウトスタートの男子は山中が前半3バーディー、ノーボギーの33と快調に飛ばした。後半

のインではノーバーディーながらボギーは1個だけで37。昨年の優勝スコアと同じトータル70。4打差の2位タイには森田紘生(福岡・香椎東小6年)とヒル杏兵ウイリアム(長崎・九州文化学園小6年)、4位に3オーバー75の叶遼(福岡・姪浜小6年)が続いた。

女子上位9人、男子11人が全国大会へ

この結果、女子は6オーバー78までの上位9人、男子は8オーバー80までの上位11人が9月16日、森永高滝CC(千葉)である「第17回全国小学生

男子の部

順位 選手名 所属 +/- Total
1 山中 太聖 伊崎田小6年 -2 70
2 森田 紘生 香椎東小6年 +2 74
ヒル 杏兵ウイリアム 九州文化学園小6年 +2 74
4 叶 遼 姪浜小6年 +3 75
5 田中 大貴 鳴水小6年 +5 77
谷口 絢飛 西原台小5年 +5 77
岩川 汰新 伊崎田小5年 +5 77
8 トンプソン ジャック 広瀬小6年 +6 78
9 園 和真 鳥栖北小5年 +8 80
小牧 優斗 菊鹿小4年 +8 80
福原 純輝 照葉北小4年 +8 80
12 野上 力 志免南小6年 +10 82
上原 一真 鹿児島大教育学部附属小6年 +10 82
西森 虹太 沖水小6年 +10 82
牛ノ浜 碧 津屋崎小6年 +10 82
中村 右京 上津役小5年 +10 82
17 ジョーンズ ウェイド ザイオンクリスチャンアカデミー 6年 +11 83
ジョーンズ ウォーレン ザイオンクリスチャンアカデミー 6年 +11 83
山田 光之助 嘉芸小3年 +11 83
20 山之口 大翔 住吉小5年 +12 84
キム 一晏 豊川小5年 +12 84
島尻 一慧 翔南小6年 +12 84
23 山脇 丈士郎 南小4年 +15 87
新里 来希 沢岷小6年 +15 87
25 大坪 歩叶 北野小6年 +16 88
26 長瀬 巧 春日西小6年 +17 89
27 土肥 和輝 平尾小5年 +18 90
渡邊 明雅 江平小5年 +18 90
29 堀 湧吏帆 矢部小4年 +19 91



優勝した山中(左)と嶋田(右)

ゴルフ大会」に九州代表として出場する。なお女子は2人が6オーバーの同スコアで並んだが、大会規定のマッチングスコアカード方式で決定した。

女子の部

順位 選手名 所属 +/- Total
1 嶋田もみじ 碓井義務教育学校6年 -2 70
2 国仲 咲々 坂田小6年 -2 70
3 湯浅 穂花 大谷小6年 +1 73
濱元 アンジェリカ 谷山小6年 +1 73
5 渡邊 希音 榎木小6年 +2 74
6 田場 泉乃 長田小6年 +4 76
野田 くるみ 脇山小6年 +4 76
8 山西 凜花 黒髪小6年 +5 77
9 加藤 りりか 南薫小6年 +6 78
西田 鈴 飯塚鎮西小6年 +6 78
11 永田 結菜 香椎下原小4年 +8 80
肥後 愛莉 福平小5年 +8 80
13 稲田 巴菜 粕屋中央小6年 +9 81
大城 楓 壺屋小6年 +9 81
平田 美弥 妃東小6年 +9 81
中山 季美 荒田小6年 +9 81
17 大城 くらら 南風原小5年 +10 82
松川 夢佳 明道小6年 +10 82
19 中原 さくら 山鹿小5年 +11 83
20 高武 椿 壺岐南小6年 +12 84
21 飛田 愛莉 下北小6年 +13 85
大原 桜佳 飯塚東小6年 +13 85
23 後久 薫子 安久小4年 +16 88
24 鐘ヶ江 いちか 小櫛小5年 +17 89
25 宮本 杏梨 泉小6年 +18 90
26 吉武 歩乃佳 愛宕小6年 +20 92
堀口 美玲 小戸小4年 +20 92
28 平井 希奈 西里小6年 +22 94
29 橋詰 恵依 高木瀬小6年 +27 99

第46回九州グランドシニア選手権競技

通算4オーバー 148

73歳の佐藤憲一(大分)がプレーオフを制して初優勝



初優勝の佐藤憲一

70歳(今年12月末現在)以上で競う「第46回九州グランドシニア選手権競技」は10月9、10日、福岡県糸島市の伊都ゴルフ倶楽部(6287ヤード、パー72)で行われた。64人が出場した10日の最終日は通算4オーバー148で3選手が並んだが、佐藤憲一(大分、73歳)が1ホール目でバーディーを決めて初の頂点に立った。2位タイにはプレーオフで敗れた村上義春(皐月、

72歳)と村川米蔵(八代、75歳)、4位タイには通算5オーバー149で吉野武司(肥後サンバレー、72歳)と青木英樹(佐賀ロイヤル、73歳)の2人が続いた。昨年優勝の那須敬彰(グランドチャンピオン、73歳)は通算18

オーバー162で47位タイだった。

初日は青木英、瀧下、高尾の3選手がパープレー72で首位に

132人(欠場5人)が出場した初日は青木英、瀧下幸治(ザ・マスターズ天草、81歳)、高尾正儀(グランドチャンピオン、74歳)の3人がパープレーの72で首位タイに立った。トップから1打差、1オーバー73の4位タイに津村益隆(大博多、70歳)、佐藤憲、吉野、村川の4人が並んだ。首位から3打差、3オーバー75までに15人がひしめき、優勝争いは混とんとしてきた。初日が終わり、9オーバー81、54位タイまでの64選手が決勝ラウンドに進んだ。

九州代表として全国大会に21人が出場 この結果、シード3選手を含む上位

21人が11月7、8日、嵐山CC(埼玉)で開催される「第30回日本グランドシニア選手権」に九州代表として出場する。なお、通算13オーバー157の20位タイに10人が並んだが、大会規

定のマッチングスコアカード方式で小山明彦(鹿児島鹿屋、70歳)と谷口敏雄(グリーンランドリゾート、75歳)が代表権を獲得した。

第46回九州グランドシニア選手権競技 決勝成績表

第46回九州グランドシニア選手権競技 決勝成績表の順位、選手名、所属、+/-、Total、1R、2Rのデータを含む表。

第22回ハンディキャップゴルフ競技九州大会 ~兼JGA杯J-sysゴルフ選手権予選

《女子》ネット67(ハンディ8、グロス75) 56歳の小林麻実(ミッションバレー)が初優勝 《男子》ネット65(ハンディ7、グロス72) 57歳の上原一男(白木)が初の栄冠

「第22回ハンディキャップ競技(HDCP)九州大会」(JGA杯J-sysゴルフ選手権予選)は10月24日、福岡県みやま市の福岡サンレイクゴルフ倶楽部(女子5352ヤード、男子6062ヤード、いずれもパー72)で行われ、女子は小林麻実(ミッションバレー、56歳)がネット67(ハンディ8、グロス75)で、男子は上原一男(白木、57歳)がネット65(ハンディ7、グロス72)でそれぞれ初の頂点に立った。

女子

48人(欠場4人)が出場した女子で優勝した小林はインスタート。前半を1バーディー、2ボギーの37で折り返すと、アウトの後半もノーバーディーだったが、ボギーを2つに抑えて38と安定したゴルフを展開した。2位タイには小林と同ネットの67ながら大会規定のマッチングスコアカー

ド方式で(H15、G82)の山田聖子(ワールド)と(H8、G75)の花山悦子(ミッションバレー)が続き、4位にはN68(H10、G78)の白石昌未(グランドチャンピオン)が食い込んだ。

男子

129人(欠場18人)が出場した男子で優勝した上原はインスタート。10、11番でいきなり連続ボギーをたたいて2オーバーとしたが、その後の7ホールをパーでしのぎ、前半は38。後半のアウトでも1番でボギーが先行しながらも4、6、9番でバーディーを奪ってパープレーに戻した。後半の粘りが初優勝につながった。3打差の2位タイにN68(H5、G73)の野木悟(福岡サンレイク)、(H6、G74)の永井広起(チェリー天草)、(H6、G74)の河原和久(佐賀クラシック)の3人。N69の5位に(H16、G85)

第22回ハンディキャップゴルフ競技九州大会 成績表

【女子】

第22回ハンディキャップゴルフ競技九州大会 成績表の女子部門の順位、選手名、所属、+/-、Net、Grossのデータを含む表。

第22回ハンディキャップゴルフ競技九州大会 成績表の男子部門の順位、選手名、所属、+/-、Net、Grossのデータを含む表。



メダルを掲げる初優勝の上原



初優勝に大喜びの小林(左)、(右)是水田九州ゴルフ連盟理事長

の脇山健一(ミッションバレー)が入った。

J-sys選手権は霞ヶ関CC東コースで男女とも各8人が出場権を獲得

今年のJ-sys選手権は11月27日、埼玉県の霞ヶ関CC東コースで行われ、

九州代表は男女とも上位各8人が出場権を獲得した。なお、女子ではN71で4人、男子でもN71で12人が並んだが、大会規定のマッチングスコアカード方式により、ともに2人が代表権を手にした。

【男子】

第22回ハンディキャップゴルフ競技九州大会 成績表の男子部門の順位、選手名、所属、+/-、Net、HDCP、Grossのデータを含む表。

第31回九州ミッドシニア選手権競技

65歳の榎隆則(諡)がパープレー72で初優勝

台風の影響で1日競技に短縮



3つ目の九州タイトルを獲得した榎

65歳以上で競われる「第31回九州ミッドシニア選手権競技」は8月28日、熊本県阿蘇郡西原村のグランドチャンピオンゴルフクラブ(6378ヤード、パー72)で132人(欠場14人)が出場して行われた。競技は本来、2日間、36ホールストロークプレーで争われる予定だったが、台風10号の接近により18ホールストロークプレーに短縮。1日競技を制したのは九州シニア選手権2連覇中の65歳の榎隆則(大分中央)。3バーディー、3ボギーの唯一人パープレーの72をマークし

て初優勝を飾った。2打差、2オーバー74の2位タイには武田幸一(72歳、かほ)、甲斐秀和(68歳、矢部サンバレー)、野上英司(66歳、ミッションバレー)、村川米蔵(75歳、八代)、杉山勉(65歳、チェリー小倉南)の5人が続いた。昨年優勝の田中雅之(67歳、若木)は11オーバー83で58位タイだった。

日本ミッドシニアには23選手が出場

この結果、シード選手と上位22人の計23人は10月31日から2日間、門司GC(北九州市)で開かれる「第30回日本ミッドシニア選手権」に九州代表として出場する。なお、7オーバー79の20位タイに5人が並んだが、大会規定のマッチングスコアカード方式で江藤富夫(65歳、大分中央)、前田弘(70歳、チェリー宇土)、山中均(72歳、福岡国際)の3人が代表権を獲得した。

第31回九州ミッドシニア選手権競技 決勝成績表

Table with 14 columns: Rank, Name, Club, +/-, Total, Out, In. Lists 144 participants and their scores.

第10回九州スーパーシニアカップ

《男子》81歳の瀧下幸治(ザ・マスターズ)が2年ぶり2度目の優勝

《女子》73歳の岩切マリ子(宮崎)が4オーバー76で2年連続2度目の栄冠

「第10回九州スーパーシニアカップ」は11月14日、福岡県小郡市の小郡カンツリー倶楽部(男子5715ヤード、女子4955ヤード、いずれもパー72)で行われ、男子は81歳の瀧下幸治(ザ・マスターズ天草)が4バーディー、2ボギー、1ダブルボギーのイーブンパー72で2年ぶり2度目の優勝。瀧下は自身が持つ大会ベスト



大会最少スコアで優勝の瀧下

スコアを1打縮めた。女子は73歳の岩切マリ子(宮崎ゴルフ)が1バーディー、5ボギーの4オーバー76で昨年に続き2年連続2度目の栄冠を手にした。

《男子》80歳(今年12月31日現在)以上で争



2年連続2度目の栄冠の岩切

われた男子は106人(欠場12人)が出場した。優勝した瀧下はインスタート。10、11番で連続バーディーと幸先のいいスタートを切った。14番で1つスコアを落としたものの、16番で取り返して前半を34でターン。後半のアウトは7番でダブルボギーをた

たきながらも2オーバー38にまとめた。首位から5打差、77の2位には金井敏男(福岡、80歳)、6オーバー78の3位には田中日本明(麻生飯塚、81歳)、同スコアの4位には甲斐朝喜(大分ななせ、81歳)、同スコア5位には奈須弘治(同、80歳)が続いた。昨年優勝の丹山慶二郎(都城母智丘、85歳)は13オーバー85で33位だった。

2年連続で誕生日が全く同じ2人が同スコア

大会規定では同スコアの場合、年長者上位となるが、8オーバー80で馬淵博臣(フェニックス)と堀昭男(美々津)の2人が8位タイに並んだ。ともに1942年2月17日生まれで生年月日が全く同じのためタイとなった。昨年もこの2人は10オーバー82の同スコアで14位タイ。2年連続での珍しい同着となった。

《女子》70歳(今年12月31日現在)以上の女子は21人が顔をそろえた。優勝した岩切はインスタート。その前半は1バーディー、2ボギーの37と安定し、後半のアウトもノーバーディーながら2ボギーの38と手堅いゴルフを展開した。首位から2打差、6オーバー78の2位に福井和子(ブリヂストン、77歳)、10オーバー82の3位に高山みどり(福岡サンレイク、71歳)が入った。

エージシュートは男子21人、女子1人 エージシュートは男子が優勝した瀧下、2位の金井、3位の田中など21人が達成し、昨年の14人から7人増えた。優勝した瀧下は約790回記録しているという。女子は4位の土器梯子(佐賀、84歳)が11オーバー83をマークして4年連続で唯一人だけ達成した。

第10回九州スーパーシニアカップ 成績表

Table with 5 columns: Rank, Name, Club, +/-, Total. Lists 39 male participants.

Table with 5 columns: Rank, Name, Club, +/-, Total. Lists 40 female participants.

Table with 5 columns: Rank, Name, Club, +/-, Total. Lists 19 male participants.

Table with 5 columns: Rank, Name, Club, +/-, Total. Lists 21 female participants.

全国大会での九州勢の主な成績

第29回 日本ジュニア選手権

《12～14歳男子》

長崎 大星(日章学園)が13アンダーで逆転初優勝

《12～14歳女子》

廣吉 優梨菜(折尾中)が6アンダーで初V

写真はともにJGA提供



12～14歳男子で優勝の長崎大



12～14歳女子で優勝の廣吉

「第29回日本ジュニア選手権大会」12～14歳男女は8月14、15日、武蔵CC豊岡コース(埼玉)で行われた。本来は3日間54ホールストロークプレーで争われる予定だったが、台風7号の影響で2日間36ホールに短縮された。

男子は九州を制した長崎大星(日章学園中3年)が初優勝。13番から4連続を含む8バーディー、2ボギーの66で首位と2打差の3位で初日を終えた長崎は、最終日に7バーディー、ノーボギーの65をマーク。通算13アンダー131で逆転勝ちした。2位に5打差をつける圧勝だった。また、廣木直翔(香楠中2年)が1アンダー143で7位タイに入った。

女子は廣吉優梨菜(折尾中3年)が通算6アンダー136で初めて頂点に立った。初日は7バーディー、4ボギーの69で首位に1打差の2位。第2ラウンドも69(6バーディー、3ボギー)をマークした。また、永山藍生(千代中3年)がイーブンパー144で4位タイに粘った。

《15～17歳女子》

仲村 梓(エナジックス)が7アンダーで2位

同ジュニアの15～17歳は霞ヶ関CC(埼玉)で行われ、九州の女子は仲村梓(エナジックススポーツ高2年)が68・67の通算7アンダー135で首位に3打差の2位と健闘した。丸尾海七(第一薬科大付属高1年)と宮城袖(同高2年)がともに4アンダー138で7位タイ。

第17回 全国小学生大会

《男子》

園 和真(鳥栖北)が4アンダーで同位優勝

《女子》

嶋田 もみじ(碓井義務教育学校6年)が4アンダーで2位

「第17回全国小学生大会」は9月16日、森永高滝CC(千葉)で開かれ、九州勢では男子の園和真(鳥栖北小5年)が4アンダー68で3選手と同スコアによる同位優勝となった。田中大貴(鳴水小6年)が1アンダー71で6位タイ、森田紘生(香椎東小6年)が1オーバー73で9位タイ。

女子は2年連続で九州一の嶋田もみじ(碓井義務教育学校6年)が首位に1打差の4アンダー68で2位、田場泉乃(長田小6年)がイーブンパー72で6位タイ、国仲咲々(坂田小6年)が2オーバー74で10位タイだった。

第77回 日本学生選手権

遠藤 崇真(東海大九州3年)が14アンダーで6位タイ

「第77回日本学生選手権」は8月20日から4日間、加古川GC(兵庫)で行われ、九州の大学の選手では、九州チャンピオンの遠藤崇真(東海大九州3年)が14アンダー274で6位タイに入った。

第45回 日本シニア選手権

井手尾 環(熊本空港)が5オーバーで9位

「第45回日本シニア選手権」は10月23日から3日間、涼仙GC(三重)で行われ、九州勢では井手尾環(熊本空港)が5オーバー221で9位に食い込んだ。井手尾は九州インタークラブ大会でもホームコースの初優勝の原動力となった。

第31回 日本女子シニア選手権

亀井 文予(武雄嬉野)が10オーバーで8位

「第31回日本女子シニア選手権」は10月24、25日、満濃ヒルズCC(香川)で行われ、九州勢では亀井文予(武雄・嬉野)が10オーバー154で8位に入った。

第30回 日本ミッドシニア選手権

上田 芳央(鹿児島)と島田 昇二郎(古賀)が4オーバーで4位タイ
降雨の影響で1日に短縮

「第30回日本ミッドシニア選手権」は10月31日から2日間、門司GC(福岡)で行われる予定だったが、降雨のためコースコンディション不良で18ホールストロークプレーに短縮された。九州勢は上田芳央(鹿児島国際)と島田昇二郎(古賀)がともに4オーバー76で4位タイ。小杉康之(熊本空港)が5オーバー77で10位タイだった。



日本ミッドシニアが開催された門司GC

第1回 日本女子グランドシニア選手権

谷川 美帆(佐世保)が14アンダーで3位タイ

「第1回日本女子グランドシニア選手権」は10月31日から2日間、武蔵CC笹井コース(埼玉)で行われ、谷川美帆(佐世保)が14アンダーで3位タイと健闘した。谷川は日本女子ミッドアマ、日本女子シニアと合わせ1年間で3試合に九州代表として出場した。

第30回 日本グランドシニア選手権

丹村 和成(鷹羽)が12オーバーで2位タイ

「第30回日本グランドシニア選手権」は11月7、8日、嵐山CC(埼玉)で行われ、丹村和成(鷹羽ロイヤル)が12オーバー156で2位タイに食い込んだ。山浦正継(志摩シーサイド)は14オーバー158で5位タイ。

第28回 日本女子ミッドアマチュア選手権

松尾 奏(天山)が2オーバーで3位

「第28回日本女子ミッドアマチュア選手権」は11

月7、8日、広島CC西条コース(広島)で行われ、松尾奏(天山)が2オーバー146の好スコアで3位に入った。2日間とも73をマークした。

第28回 日本ミッドアマチュア選手権

儀保 和(筑紫ヶ丘)が2オーバーで4位

「第28回日本ミッドアマチュア選手権」は11月13日から3日間、高室池GC(兵庫)で行われ、儀保和(筑紫ヶ丘)が2オーバー215で4位に。九州王者の石塚祥成(福岡雷山)は4オーバー217で6位タイ。

JGA/USGA公認コース・レーティング

(CR=コースレート、SR=スロープレート)

【さつまゴルフリゾート】 査定実施日: 2024/10/3～4

◇アウト・イン(ペント=パー72)

Table with 6 columns: No., ティー, ヤード, 男子 CR, 男子 SR, 女子 CR, 女子 SR. Rows 1-5.

【大分カントリークラブ 吉野コース】 査定実施日: 2024/9/26～27

◇アウト・イン(コライ=パー72)

Table with 6 columns: No., ティー, ヤード, 男子 CR, 男子 SR, 女子 CR, 女子 SR. Rows 1-4.

【福岡セブンヒルズゴルフ倶楽部】 査定実施日: 2024/9/17～18

◇アウト・イン(ペント=パー72)

Table with 6 columns: No., ティー, ヤード, 男子 CR, 男子 SR, 女子 CR, 女子 SR. Rows 1-5.

【JR内野カントリークラブ】 査定実施日: 2024/8/5～6

◇アウト・イン(ペント=パー72)

Table with 6 columns: No., ティー, ヤード, 男子 CR, 男子 SR, 女子 CR, 女子 SR. Rows 1-5.

【島津ゴルフ倶楽部】 査定実施日: 2024/8/1～2

◇アウト・イン(ペント=パー72)

Table with 6 columns: No., ティー, ヤード, 男子 CR, 男子 SR, 女子 CR, 女子 SR. Rows 1-6.

【小長井カントリークラブ】 査定実施日: 2024/7/25～26

◇アウト・イン(高麗=パー71)

Table with 6 columns: No., ティー, ヤード, 男子 CR, 男子 SR, 女子 CR, 女子 SR. Rows 1-4.

【長崎カンツリー倶楽部】 査定実施日: 2024/7/24

◇アウト・イン(高麗=パー72)

Table with 6 columns: No., ティー, ヤード, 男子 CR, 男子 SR, 女子 CR, 女子 SR. Rows 1-5.

【ハウステンボスカントリークラブ】 査定実施日: 2024/7/18～19

◇アウト・イン(ペント=パー72)

Table with 6 columns: No., ティー, ヤード, 男子 CR, 男子 SR, 女子 CR, 女子 SR. Rows 1-6.

JGAの「ゴルフと健康部会長」が来訪

日本ゴルフ協会(JGA)のゴルフ推進本部「ゴルフと健康部会」の中島和也部会長が8月20日、福岡市の九州ゴルフ連盟を訪れた。JGAが進める健康増進のWAG(ウィズ・エイジング・ゴルフ)スクール普及活動のため。中島氏は「九州でも広めてもらいたい」と語った。兄はプロゴルファー中嶋常幸。

レベル1、2ルールセミナー開講

R&Aレベル2ルールセミナーが10月21、22日、福岡県糸島市の伊都GCで行われた。セミナーには17人が参加=写真。また、9月24日、福岡市の福岡CCで開かれたR&Aレベル1ルールセミナーでは19人が受講(4月16日の同CCでは18人が受講)。九州ゴルフ連盟(GUK)競技委員の資格を有するためには、レベル1ルールセミナーの受講が必須となっている。



「ターフメンテナンス展示会」開催

九州ゴルフ連盟主催の「ターフメンテナンス展示会」が11月26日、熊本県上益城郡益城町のグランメッセ熊本で2年ぶりに開催された。会場にはグリーンキーパーをはじめコース管理スタッフや支配人などゴルフ関係者約1,000人が参加した。



事務局だより

(7月20日~11月26日)

- ◇支配人幹事会(7月28日・連盟会議室)
◇競技委員代表者会議(8月9日・連盟会議室)
◇委員長会議(8月19日・連盟会議室)
◇総務財務委員会(9月2日・連盟会議室)
◇常務理事会(9月30日・連盟会議室)
◇理事会(9月30日・連盟会議室)
◇支配人幹事会(10月28日・ホテル京セラ)
◇ゴルフ活性化委員会(11月11日・連盟会議室)
◇ジュニア育成委員代表者会議(11月22日・連盟会議室)
◇グリーン委員会(11月26日・グランメッセ熊本)

人事異動

理事長

- ◇肥後サンバレーCC 衛藤農夫生理事長が退任、後任に岩佐信章氏 = 8月27日
◇霧島GC 松山澄寛理事長が逝去、後任に安田耕一氏 = 9月吉日

支配人

- ◇鹿北GC 志賀幸雄支配人が退任、後任に飛松美智代氏
◇かごしま空港36CC 竹之内義彦総支配人が退任、後任に下川路拓洋氏 = 以上6月1日
◇グリーンランドリゾートゴルフコース 江川雅則支配人が退任、後任に東建次氏
◇湯布高原GC 竹石讓二支配人が退任、後任に鳥飼史郎氏(総支配人)
◇ハウステンボスCC 佐藤幸子支配人が退任、後任に井出和子氏
◇伊都GC 筒井正一支配人が退任、後任に甲斐政樹氏
◇阿蘇大津GC 佐藤裕一支配人が退任、後任に岡藤真敏氏 = 以上7月1日
◇太宰府GC 船木宏樹総支配人が退任、後任に松尾直樹氏(支配人代理) = 9月1日
◇熊本空港CC 緒方伸光支配人が退任、後任に古田正人氏 = 9月6日
◇佐世保国際CC 宮原達也支配人が退任、後任に廣瀬利志氏
◇二丈CC 和田朋之支配人が退任、後任に浅野良介氏

◇湯の浦CC 本田広行支配人が退任、後任に清川和也氏 = 以上10月1日

その他

- ◇R&Aレベル1ルールセミナー 9月24日・福岡CC
◇R&Aレベル2ルールセミナー 10月21、22日・伊都GC
◇ターフメンテナンス展示会 11月26日・グランメッセ熊本

後援競技

- ◇第46回西日本アマチュアゴルフ選手権大会 = 11月15日・土佐CC
◇2024ダンロップフェニックストーナメント = 11月14~17日・フェニックスCC
◇第44回沖縄女子ゴルフ選手権大会 = 10月23、24日・沖縄CC
◇第4回ケーブルメディアワイワイpresents中島啓太カップジュニアゴルフチャンピオンシップ = 2025年3月27日・美々津CC

JGA/USGA公認コース・レーティング

(CR=コースレート、SR=スロープレート)

【福岡カンツリー倶楽部】 査定実施日: 2024/7/8~9
◇アウト・イン(ペント=パー72)

Table with 7 columns: No., Tee, Yard, Male CR, Male SR, Female CR, Female SR. Rows 1-6.

【宮崎カントリークラブ】 査定実施日: 2024/7/2~3
◇アウト・イン(高麗=パー72)

Table with 7 columns: No., Tee, Yard, Male CR, Male SR, Female CR, Female SR. Rows 1-6.

【ハイビスカスゴルフクラブ】 査定実施日: 2024/6/26~27
◇アウト・イン(ペントメイン=パー72)

Table with 7 columns: No., Tee, Yard, Male CR, Male SR, Female CR, Female SR. Rows 1-6.

◇アウト・イン(ペントサブ=パー72)

Table with 7 columns: No., Tee, Yard, Male CR, Male SR, Female CR, Female SR. Rows 1-6.

【宮崎国際空港カントリークラブ】 査定実施日: 2024/6/24~25
◇アウト・イン(ペント=パー72)

Table with 7 columns: No., Tee, Yard, Male CR, Male SR, Female CR, Female SR. Rows 1-5.

2024年1月~9月 県別来場者数

Large table showing visitor numbers by prefecture from Jan to Sep 2024, comparing current and previous years. Columns include prefecture, visitor count, and percentage change.

人と街、今日と明日を結ぶ。



www.en-hd.jp

えんホールディングスグループ

建築・開発・総合管理

株式会社えんホールディングス

- 本社 千812-0018 福岡市博多区住吉3-12-1 えん博多ビル
■東京支店 千103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル11階

マンション販売 株式会社えん

居室管理・修理・リフォーム業 株式会社えん賃貸管理

管理組合支援・建物管理維持 株式会社えん建物管理

不動産仲介業務(賃貸・売買)・不動産販売 株式会社えんコーポレーション

システム開発・保守 株式会社えんシステム

ホテル運営 株式会社えんホテルトラッド

海外不動産投資事業 株式会社えんインベストメントバンク

保有資産管理 株式会社えんインベストメントジャパン

WEBメディア運営 株式会社えんメディアネット

第52回九州インタークラブ競技大会 決勝

熊本空港CC(熊本県)が最少スコアで初優勝

熊本県勢としても初の頂点
ベストグロス 2アンダー 70
63歳の湯浅 幸一(愛野)が初の栄冠
トータル7オーバー 367



初優勝の熊本空港CCのメンバー

がエントリーし、このうち23チームが決勝大会に駒を進めた。決勝大会は開催倶楽部の長崎国際ゴルフ倶楽部を含めた24チームで争われた。

熊本空港CCは5人全員が70台。1人棄権が出ながらも5人が踏ん張る

九州・沖縄8県のうち唯一優勝のなかった熊本県が大会52回目にして、ついに頂点に立った。熊本空港CCは小杉康太が腰痛で棄権しながらも、残りの5人が踏ん張った。それも全員が70台。ポイントゲッターの高村博臣(40歳)と小杉竜三(37歳)がともにパープレーの72。59歳の井手尾環が73、65歳の小杉康之が74、68歳の江村博次が76とベテラン勢の健闘も

「第52回九州インタークラブ競技」は11月7日、長崎県諫早市の長崎国際ゴルフ倶楽部(6753ヤード、パー72)で決勝大会が行われ、トータル7オーバー 367で熊本空港CC(熊本県)が初優勝を飾った。熊本県としても初制覇で、このスコアは5人のトータルとしては最少。首位から12打差、トータル379の2位には前回優勝のフェニックスCC(宮崎県)が続き、さらに同スコアの3位に宮崎レイクサイドGC(同)、381の4位に若松GC(福岡県)、384の5位にくまもと中央CC(熊本県)が入った。

※同スコアの場合は大会規定により6人の合計スコアで決する。
ベストグロス、2アンダー 70(34・36)をマークした63歳の湯浅幸一(愛野)が初の栄誉に輝いた。

決勝大会は24チームが出場

九州ゴルフ連盟(GUK)主催競技唯一の団体戦。出場チームはGUK加盟のクラブで、学生・生徒を除く1倶楽部6人およびアドバイス・ギバー1人(54歳未満3人以内)で構成。ベスト5人の合計スコアで優勝を争う。10地区の予選会には183倶楽部



ベストグロス賞の湯浅

光った。前回優勝のフェニックスCCは首位とは12打差ながらも2位に食い込むあたりはさすが。全員が安定した力を発揮した。フェニックスCCと同スコアながら3位となった宮崎レイクサイドGCは5人がそれぞれ75~77にまとめた。

ベストグロスの湯浅は63歳ながらドライバーの飛距離290ヤード

個人のベストグロスは2アンダー70の湯浅が獲得した。アウトからスタートし、前半は3バーディー、1ボギーの34。後半は2バーディー、2ボギーの36。その武器は63歳と言っても、ドライバーの平均飛距離280~290ヤードを誇るパワー。48歳からゴルフを始めて念願のタイトル奪取となった。1打差の2位タイに田中良明(若松、30歳)と中村成児(くまもと中央、44歳)、パープレー72の4位タイに高村と小杉竜、江口信二(大博多、53歳)の3人。

第52回九州インタークラブ競技大会 決勝 成績表

Table with 24 rows and 21 columns showing tournament results by club and player scores.

Advertisement for Bridgestone golf clubs featuring the slogan '快芯の鍛造。' (Forging the fast core) and images of 241CB and 242CB+ clubs.